

平成21年 9月16日

報道機関各位

(財)若狭湾エネルギー研究センター エネルギー研究開発拠点化推進組織 松丸、中川 TEL: 0770-24-7272
(財)ふくい産業支援センター プロジェクト研究推進室 岩佐、前川 TEL: 0776-55-1555

### ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業における 可能性試験調査研究テーマの採択決定について

(財)若狭湾エネルギー研究センターおよび(財)ふくい産業支援センターでは、他県に比べて優れている技術等を基に、更なる技術開発を推進し最先端技術を創出することで、県内に新たな産業クラスターの形成を目指す「ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業」に取り組んでおります。

本事業の一環として、両財団では、市場拡大が見込まれる分野における事業化、新商品開発等の促進を目的として、平成21年度の「可能性試験調査研究」を公募（7月7日に発表済み）したところ、16件の提案があり、審査の結果、別紙の13件を採択しましたのでお知らせします。

#### 「可能性試験調査研究」公募概要

- 1 募集の対象となる研究調査分野  
活用する技術は、次の5つの技術分野のいずれかに該当すること。  
Ⅰ 先端マテリアル創製・加工技術、Ⅱ チタン・マグネシウム加工技術、  
Ⅲ レーザ高度利用技術、Ⅳ バイオテクノロジー、Ⅴ 原子力・エネルギー関連技術  
研究調査テーマは、次の4つの分野のいずれかに該当すること。  
① 分散型発電・携帯エネルギー、② モバイル・IT機器、③ 次世代自動車部品、  
④ ニューセーフティープロダクツ（未来の安心・安全を創造する高品質社会関連製品）
- 2 応募対象者（研究調査グループ）  
福井県内の産業界、公設試験研究機関および県内外の大学等から参加する研究者で構成されるグループ（産学官、産学または産官）
- 3 支援額（研究調査経費）  
1テーマにつき、200万円を限度とする。
- 4 募集期間  
7月8日（水）～7月31日（金）

別紙 可能性試験調査研究テーマ採択一覧

## 可能性試験調査研究テーマ採択一覧(1/2)

(財)若狭湾エネルギー研究センター担当分

テーマ名	グループ構成員(下線は代表企業)	概要
電子線照射によるポリプロピレン/気相成長炭素繊維系複合体成形物の高強度化	<u>ローディア日華</u> (株)、福井大学	ポリプロピレンと気相成長炭素繊維の複合化、さらに電子線照射により、軽量でありながら機械的強度に優れた材料の開発を行う。
電子線グラフト重合によるアラミド繊維の染色性改善	<u>松文産業</u> (株)、 <u>サカイオーベックス</u> (株)、 <u>ローディア日華</u> (株)、福井大学	高強度、高耐熱性などの特性を有するアラミド繊維について、電子線照射技術を利用して染色性を改善するための研究調査を行う。
10MeV電子線照射による抗菌加工技術及び抗菌繊維製造方法に関する研究	<u>関西電子ビーム</u> (株)、大阪大学	出力10MeVの電子線照射を利用し、抗菌作用のある銀ナノ粒子を繊維に保持させ、かつ、抗菌繊維の大量生産が可能な方法を開発する。
草本系バイオマスのアルカリ処理等低コストエタノール化技術の調査研究	(株)環境総合テクノス、福井工業高等専門学校、福井県総合グリーンセンター	前処理法としてアルカリ処理を用いる、キノコ廃菌床から抽出される酵素セルラーゼを利用するなど、低コストのバイオエタノール製造方法について調査、研究する。
廃棄されるアセテート(酢酸セルロース)の再利用方法の実用化開発研究	<u>ユニックス</u> (株)、福井工業大学	産業廃棄物となっているアセテート材(酢酸セルロース)を再利用した生分解性素材の開発、シート材などへの成形技術の研究を行う。
石英光ファイバー伝送を用いたレーザー除染装置の研究調査	(株)若狭クリエイト、若狭技研工業(株)、(株)アトックス、若狭湾エネルギー研究センター、日本原子力研究開発機構	重水炉、軽水炉の1次系の廃止措置や定期検査などにおける除染作業での利用を目的としたレーザー除染装置に関する調査、研究を行う。
電場指紋照合法を用いた配管減肉オンラインモニタリングの適応研究	(株)ナカテック、福井大学、日本原子力研究開発機構	電位差法を利用した非破壊検査装置を試作し、配管減肉のオンラインモニタリング技術としての適用可能性を検討する。
海藻由来多糖の微生物による分解及び大型種苗を用いた藻場造成手法確立	<u>サカイオーベックス</u> (株)、福井大学	海藻などから採取した微生物を利用して海藻の多糖類を分解し、さらにエタノール発酵を試みる。また、原料となる海藻を得るための藻場造成に関して、生物による食害対策として、藻場へ移植する前に大型種苗に育成する方法について検討する。
超低温冷凍技術による若狭産活締め魚を原料とした超高品位加工品の創製	<u>小浜海産物</u> (株)、福井県立大学	生締めした若狭の地魚、酢締めなどの加工、超低温冷凍技術の組み合わせによって、長期間保存可能な高品質の魚肉加工品を開発する。

## 可能性試験調査研究テーマ採択一覧(2/2)

(財)ふくい産業支援センター担当分

テーマ名	グループ構成員(下線は代表企業)	概要
高強度および高度の水管理機能を有する新規ガス拡散基材の開発	<u>セーレン(株)</u> 、三菱電機(株)、福井工業大学	ガス透気度に優れるカーボクロスに剛性を付与し、個体高分子形燃料電池に関する新規なガス拡散基材を開発する。
軽量耐熱表面処理TiAl合金粉末及びニアネット成形体の製品化研究調査	<u>清川メッキ工業(株)</u> 、福田金属箔粉工業(株)、福井大学	軽量・耐熱合金として有望であるTiAl合金を自動車関連部材へ使用可能とするための表面処理、ニアネット成形について研究、調査を行う。
サバ魚醤(へしこ醬)の工業的製造法の検討	<u>(株)前川幸一商店</u> 、福井県立大学	へしこ生産過程で廃棄物となるサバの内臓から魚醤を生産する技術シーズを用いて、サバ魚醤を利用した新製品の開発を行う。
未利用セルロースの成分分離法の開発とその展開可能性試験	<u>日華化学(株)</u> 、東洋紡(株)、レンゴー(株)、福井工業高等専門学校、福井大学	県内で廃棄される木質チップを白色朽腐菌などで分解し、バイオマスの電池用燃料、バイオプラスチック材料の開発を行う。